2023 年 9 月

「保全水準評価」から始まる
「計画保全体制構築」のご提案

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（JIPM）

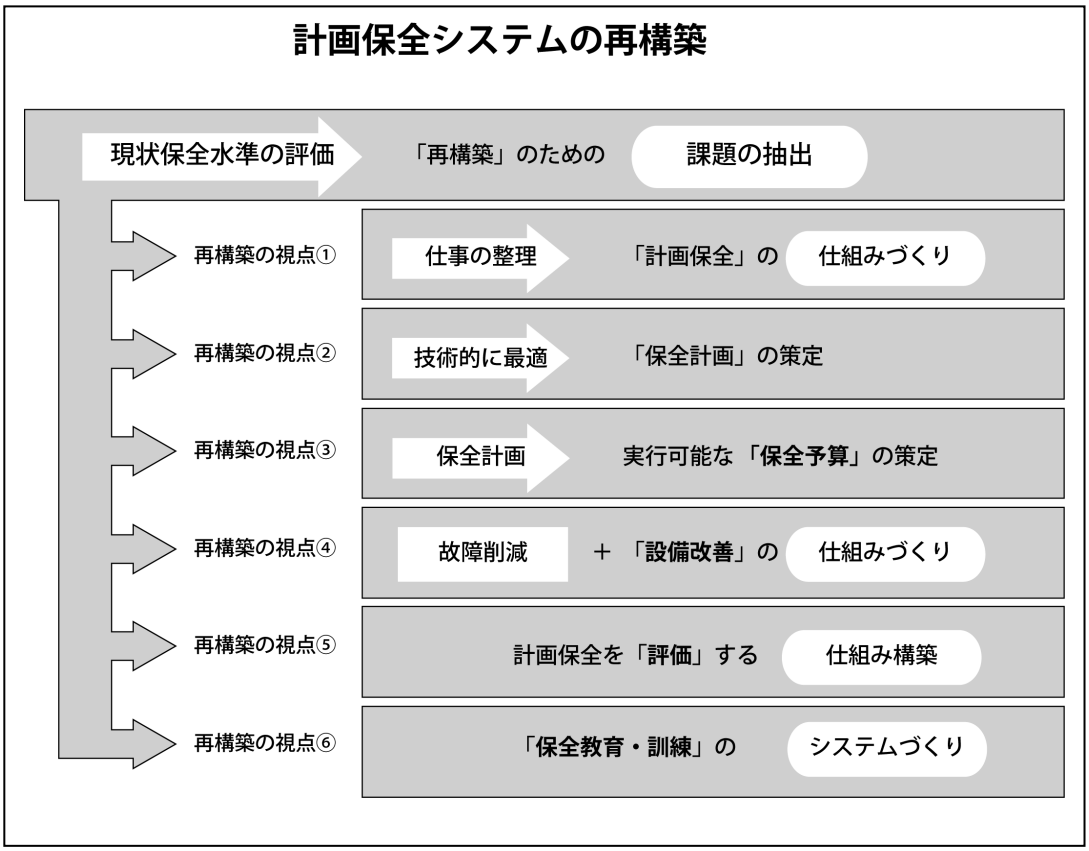
－機能故障を起こさせない計画保全体制にする「仕組みの改善」を－

ドカ停だけでなく、「機能故障を起こさない保全」の仕組みに転換していくためには、計画主導の「プロアクティブ保全」へと”発想を転換”する必要があります。ここで大事なことは、「現状の仕組みを活かしつつ」、下記の計画保全システム構築の視点で、着実に進めていくことです。そのためにも、まずは、貴事業所の**現状の保全水準を客観的にとらえ、問題点と具体的な課題を抽出すること**が重要となります。

そこで、当会は、貴事業所の**現地の現状評価（「現地診断」）と問題点と具体的な課題を提示する**プログラムをご用意しています。

＜計画保全システム　構築の視点＞

【視点1】 仕事を整理し、計画保全の仕組みづくり
【視点2】 技術的に最適な保全計画の策定
【視点3】 保全計画に基づき実行可能な保全予算の策定
【視点4】 故障削減と設備改善の仕組みづくり
【視点5】 計画保全を評価する仕組みの構築
【視点6】 保全教育・訓練のシステムづくり



1. 専門家による「現地診断」の内容

当会の「保全水準評価」専門家が、現地で貴事業所の「保全水準評価」を行い、強み・弱みを見出し、課題解決の方向性をレポートします。

＊全社的な取組みを目指した評価体制を構築するために、「保全水準評価プログラム」の 5 段階評価に基づく『MOSMS®診断』を推奨していますが、その”前哨戦”として、限定的な取組みとして「現地診断」をご提供しています。

(1)概要

① 対象：貴社のモデルプラント一個所
② 診断期間：1 日（6 時間目安）
③ 評価内容：MOSMS®診断項目を背景として、とくに重要な項目を視点とした現地実態およびヒアリング調査
④ レポート：③に基づき「再構築の視点」をご提案します
⑤ 費用：現地診断およびレポート：当会会員 935,000 円、一般 990,000 円（診断一個所につき、税込み）

＊移動費、宿泊費は別途実費ご請求させていただきます。

＜備考＞

・当会の診断・支援事業は、貴社・貴事業所の詳細な情報に触れるため、守秘義務契約に基づき実施されます
・守秘義務契約は、貴社・貴事業所と当会の業務委託契約として締結する項目に含まれます

(2)「現地診断」の詳細

上記③評価内容の詳細は、下記のとおりです。

(a)診断の「視点」

2008 年より実施して効果をあげてきた「MOSMS 診断」および中堅企業の「保全水準評価」の実績を背景としています。

専門診断員は、下記の「視点」で現地実態およびヒアリング調査を行い、水準を４段階で評価いたします。

・組織・予算
・保全計画
・保全実行
・保全評価
・保全資料
・報告・レビュー
・設計と保全
・運転保全
・人財育成

(b)”普段着のまま”で

MOSMS の保全水準評価は、ISO 監査とは違います。つまり、「事前にたくさん準備をして臨む」ものではありません！

現状の「仕組み力」を評価しますから、普段着のまま気軽に評価を受けていただきます。

(3)診断後のレポート内容

(a)「仕組み力」のレーダーチャート表示

現地診断の「視点」から、現在の保全の「仕組み力」を表示します

(b)診断者のコメント

各項目に対し、気が付いた具体的な点を診断者がコメントします。

(例)現地診断の「視点」として、「保全計画の策定・保全方式の設定」に対しては、修理、整備方式の明化がなされているか(保全対象設備毎に修理、整備方式を設定し、技術的根拠を文書化しているか等)を診ています。また、その文書のとおりに実行され“続けているか”、またその見直しがなされているか等を診ています。それらの点から、とくに気を付けるべき
点をコメントします。

(c)「仕組み」に表れる貴所の強み・弱みと、解決すべき「課題」

上記より貴事業所の強み・弱みと、解決すべき「課題」を整理し、下記の視点の中で優先度が高い項目に関し「仕組みの構築」をご提案します。

【構築の視点1】 仕事を整理し、計画保全の仕組みづくり

【構築の視点2】 技術的に最適な保全計画の策定

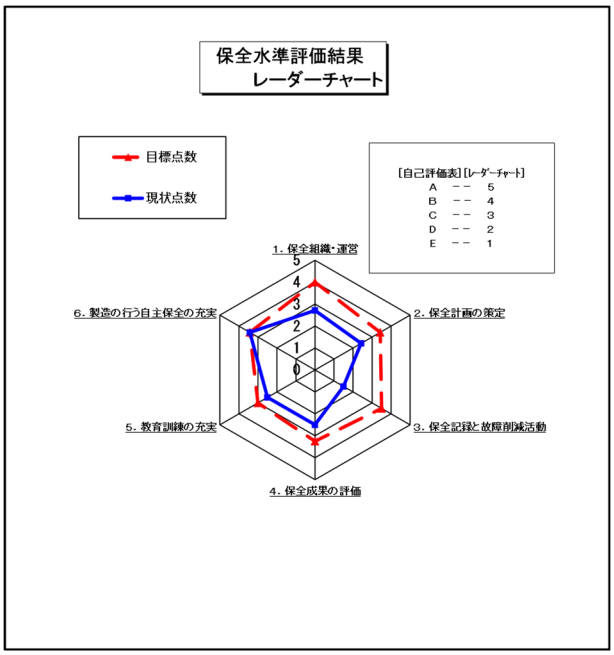
【構築の視点3】 保全計画に基づき実行可能な保全予算の策定

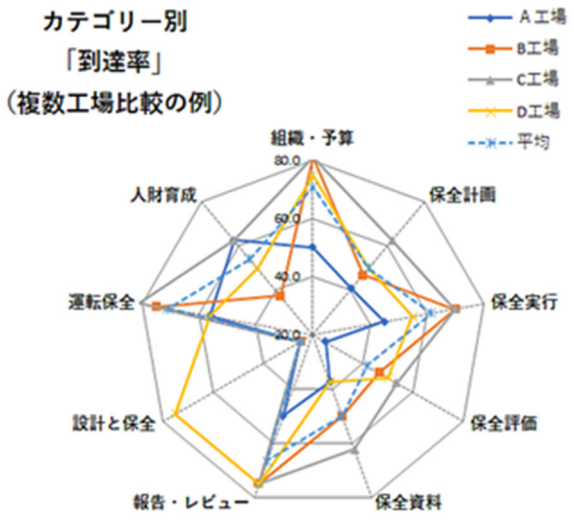
【構築の視点4】 故障削減と設備改善の仕組みづくり

【構築の視点5】 計画保全を評価する仕組みの構築

【構築の視点6】 保全教育・訓練のシステムづくり

現地診断による「仕組み力」評価の例





2.「現地診断」の進め方イメージ

下記は、「現地診断」を実施する場合のイメージ（事例）です。

(1)ご参加いただく方

① 貴事業所設備管理の責任者
② 機械系責任者
③ 電計系責任者
④ 生産責任者

★経営層：方針をお聞きいたします
＊本社のキーマン：全社展開を考慮している場合

(2)事前に準備いただく資料

＜生産と設備管理の概要に関する資料＞

① 貴事業所所の概要
- 組織図
- 生産品目
- フローシート（生産の大まかな流れ図と設備の状況）
- 配置図

② 計画保全の業務範囲と組織図

＜保全実務に関わる資料＞：現在あるものを揃えていただければ結構です

- オーバーホールの計画・記録
- 故障数の推移
- 故障対策の記録
- 設備改善の記録
- 点検基準や点検記録
- 保全業務委託の内容と記録
- 保全業務委託に関する管理・報告資料
- 労働災害件数・推移
- 設備管理・保全に関する標準類、マニュアルなどのリスト
- 保全予算管理に関する記録等

(3)当日スケジュールのイメージ

次ページにイメージを掲載します。
現状に合わせて、適宜変更しつつ無理なく且つ効果的に進めます。

「現場視察」も含めて、全体に、「“ありのまま”を相談する」イメージで臨んでいただければ幸いです。

【当日スケジュールのイメージ】

＜現地診断内容とタイムスケジュール例＞

時　刻	時間（Hr）	カテゴリ	ヒヤリング項目
9:00　～　9:30	0.5	出席者紹介と工場概要説明（保全対象設備の確認）	
9:30　～　10:00	0.5	1　保全組織・予算	年初保全計画
			中長期保全計画（老朽化・陳腐化対応含む）
			保全組織・分担
			保全費の管理
10:00　～　11:00	1.0	2　保全計画	機器リスト
			法定対象設備のリスト化
			法規類の新設・改廃への対応
			機器重要度
			機器別の保全方法（「機器別管理基準」）
			機器別保全方法の根拠（「機器別管理基準」様式－2）
			予備品管理
			保全結果の指標管理
11:00　～　12:00	1.0	3　保全実行	ジョブフローに基づく保全業務の実行
			業務依頼と安全確認
			機器別検収条件の明確化（「指示検収票」）
			潤滑管理
			外注体制
12:00　～　13:00	1.0	（昼休み）	
13:00　～　14:00	1.0	4　保全評価	変更管理
			個別改善の推進
			故障件数推移状況把握
			故障原因分析書作成
			故障削減の取り組み、水平展開
			故障原因分析結果の次期設備への適用（MP設計）
			保全指標分析に基づく改善
14:00　～　15:00	1.0	5　保全資料	保全結果（履歴類）の保管
			保全必要資料類、期限の明確化
		6　報告・レビュー	保全会議
		7　設計と保全	設計業務の推進
		8　運転保全	清掃・給油・増締め
			給油作業
			設備の点検
			運転保全情報の交換
15:00　～　15:30	0.5	9　人財育成	事業所として必要な資格の明文化
			個人の育成計画
15:30　～　16:30	1.0	現場視察（ヒヤリング結果を踏まえて視察対象設備、場所を選定）	
16:30　～　17:00	0.5	全体まとめ（診断結果報告会の進め方等）	
合計時間	8.0		

4. お申込みから診断までの流れ

「現地診断」から計画保全の構築支援の流れは下記のようになります。

	項目	貴社・貴事業所	JIPM専門診断員（および指導員）	日程	追記	費用（税込）	備考
	0. 貴社の当会会員ご登録 貴社とJIPMとの契約書の締結	○			会員登録 業務委託契約	（年会費・登録費）	
	1. 診断対象工場（ライン）の選定	○					
専門診断：2日	**2. 選定工場の『現地診断』**（1箇所）	○	◎		**現地診断** ・診断は1個所1日です ・結果レポートは、約10日程度のお時間をいただきます	会員 935,000円 一般 990,000円	現地でのヒアリングを主体とします
	・診断結果報告書ご提出		◎				
	＊「報告会」を行う場合	○	◎	半日	ご希望の場合	（会員 242,000円） （一般 330,000円）	診断結果報告書の内容と、今後のご提案
ご参考	＊計画保全の構築支援	○	◎	1日	診断結果後のご提案となります		

＊　お申込みはメール等でいただき、診断についての業務委託契約を締結し実施いたします。

＊　貴社にて、診断対象の事業所・工場を選定ください。

＊　現地診断には当会診断員が伺います。当日スケジュールは前ページのとおりです。

＊　診断結果のレポート作成には 10 日ほどのお時間をいただきます。とくにご指定がなければ、印刷可能な pdf ファイルでご報告いたします。

＊　報告会はオプションですが、ほとんどのケースで実施されています。2～3 時間です。
　なお、計画保全構築の支援（コンサルティング）を想定した「報告会」の場合は、今後の展開を含め、できるだけ多くの参加者（経営陣を含む）が望ましいといえます。

＊　構築の支援
現地診断を実施した後、現地診断結果と貴事業所のニーズに基づき、「仕組みの構築」に対する支援が必要な場合は、別途支援プログラムをご提案いたしますので、お気軽にご相談ください。

以上

【ご連絡／お問合わせ】
公益社団法人日本プラントメンテナンス協会　企画管理・調査研究部
メール：rd@jipm.or.jp

〒101-0051　東京都千代田区神田神保町 3-3　神保町 SFⅢビル 5 階
Tel: 03－6865－6081　Fax: 03－6865－6082
JIPM　WEB サイト：http://www.jipm.or.jp/

MOSMS®は公益社団法人日本プラントメンテナンス協会の登録商標です